



今年度総括

一昨年から業績回復に血道を上げる一方、労務管理の近代化にも取り組んだ。昨年暮から一念発起、創業以来増改築を重ねた給与体系の簡素化を図った。時流に適合した事業体作りへの一里塚だ。この改定は事務局の誠実で粘り強い姿勢と賢明な従業員諸君の理解と協力なくしてはできなかった。改めて皆さんにお礼を申し上げます。

事務局はおよそ5ヶ月間余り丹念な下調べ、議論を重ねながら賃金マトリックス表を完成した。これを元に当社独自の労務管理システムが動き始めた。

まだスタートラインに立ったばかりだが監修して頂いた社労士の北先生、事務局の労に感謝します。

定例会を改組します。

約10年続いた定例勉強会を終了する。今後は年一回の総会を開催。各種表彰と経営方針発表の場にします。

数か月ごとに付加価値向上委員会(仮称)を設置。委員長の法元君を中心に数名の委員を選抜する。

付加価値=売上高-原価です(付加価値の国内総計がGDPでもある)。

お客様・従業員・会社の三者に付加価値をもたらさない売上(事業)では意味がない。単なる差別化追求は現場が疲弊するばかりだ。



マネのできない我社の特異性を磨こう。時代の流れを味方にできる社風を創造しよう。

委員会の下に運行・車輛・作業・健康、各部会を置く。

委員会活動は大上段に構えず腰を据えじっくり。

学生のサークル活動のノリで参加し易い雰囲気。

雪に泣く



厳しい寒さは体を弱める。

首都圏のドライバーにとって厳冬、とりわけ積雪は劣悪な労働環境を招く悩ましい問題だ。過去、予報が外れて以来、「あつもの」に懲りて「なます」を吹いたのか、・・はっきりしない気象予報士のコメントにイライラしながらテレビ画像にかじりつく。

近頃の雪は荒々しくて品がない。一昔前はしんと降ったものだ。昼から厚い雪雲が空を覆い始める。ゆったり降る牡丹雪からやがて横殴りの北風とともに密集した小さな雪粒が車庫を舞う。4年前の大雪騒動から全車スタッドレスタイヤを標準装備。

我社には大きな負担だが安全安心のためには必要だ。

昨今の荒れる気象は日本国の難題でもある。

今月のひとこと

現代人はインターネットにつながっていても現実とはつながっていない。

